

特定非営利活動法人 **RDA Japan**
2013年度の事業報告・2014年度の事業計画

【 総会資料 】

総会日時：2014年5月14日（水）10時半～12時半
総会会場：ルノアール貸会議室プラザ八重洲北口店
東京都中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル3階

RDA Japan事務局所在地
神奈川県横浜市青葉区美しが丘西 2-21-1（案）
電話 080-6519-7818
Eメール rda@rdajapan.com

【謝意】

いつも RDAJapan の障がい者乗馬活動にご支援、ご理解を賜りまして、誠にありがとうございます。こうして例年通り定例総会が開催できますことを皆様に深く感謝いたします。

2013 年度も多くの方に支えられ、活動を続けることができました。皆様の強いご支援とご指導により、何人かの B 級インストラクターが誕生し、また活動の原点であるユニットもいくつか認定されました。2014 年度もますます活発に活動していくことと信じております。

2013 度は障がい者乗馬を推進しておられるいくつかの団体と友好的な連携が芽生え始めた年でした。昨年 11 月には JTRA 主催の研究会に、様々な団体や個人が集まり、それぞれの活動を発表し、それに沿った論議が和やかななかにも活発に行われました。私ども RDA Japan から中田理事を始め何人かの方が日常の活動と RDA の理念を発表し、互いの理解をさらに深めた研究会となりました。今後もこうした緩やかながら密な連携を一層深めて行きたいものです。

ある国際学会でモンゴルの研究者たちと懇談したことがあります。モンゴル人は水が怖いという話で盛り上がり、モンゴルには泳げる人はほとんどいないし、モンゴル人は水に入ること自体に大きな恐怖を感じるという興味深い話を聞きました。日本には「馬を泳がせる馬術があるが・・・」と言ったところ、「ああ、馬と一緒になら話は別だ。暑い夏の日には馬と一緒に川に入り水浴びをするのは大きな喜びだ」と思わぬ返事でした。彼らは一人、いや人間だけでは怖くて怖くて決して水には入れないが、馬と一緒になら全く別、何の恐怖も不安もなく水遊びができるのです。それを聞いて、おおきなインパクトを受けました。人だけではできないことが、信頼する馬と一緒になら何の不安もなく可能になる。もしかしたら、私ども障がい者乗馬活動が目指すところの一つはそこにあるのではないのでしょうか？

今回の総会で認めていただければ、理事長はじめ役員が大幅に交代し、新たな体制で RDA Japan の活動を続けていく所存でございます。どうか倍旧のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

【設立よりご寄付をいただいた企業、団体様名】

株式会社 エヌケイケイ カバロ東京 株式会社 カンバセッション アンド カムパニー
北澤商事 有限会社 株式会社 クリニコ グレートブリテンササカワ
ゴールドマンサックス証券 株式会社 財団法人 笹川スポーツ財団
ジェーシーアール 株式会社 乗馬ライフ (オーシャンライフ株式会社)
財団法人 損保ジャパン記念財団 (旧安田火災記念財団) 大日本住友製薬 株式会社
東京大崎ロータリークラブ 社団法人 東京倶楽部 社団法人 東京青年会議所
東京都共同募金会 東京マリーンロータリークラブ 凸版印刷 株式会社
財団法人 日韓文化交流基金 日本ケミカルリサーチセンター 株式会社
日本馬主協会連合会 日本エンタープライズ 株式会社
独立行政法人 日本スポーツ振興センター 日本郵政公社 ハートランド牧場
株式会社 ハウフルズ バキュームモールド工業 株式会社
バキュームモールド販売 株式会社 有限会社 ピアッフェ 東関東ホースパーク
独立行政法人 福祉医療機構 株式会社 不動産投資研究所 メリアルジャパン 株式会社
モルガンスタンレー証券 株式会社 財団法人 ヨネックススポーツ振興財団
リーバイストラウスジャパン 財団法人 日本社会福祉弘済会 株式会社 リズメディア
(五十音順、敬称略、個人名は省いております)

【目次】

■ 次 第	4
■ 2013年度の役員名簿	5
■ 2013年度 事業報告に関する件	
年度総括	6
総会、理事会の開催状況	7
2013年度事業報告一覧	8～12
■ 2013年度 会計および監査報告に関する件	
2013年度 収支決算書	13～14
2013年度 貸借対照表	15
2013年度 財産目録	16
監査報告書	17
■ 役員承認に関する件	
2014年度の役員	18
■ 2014年度 事業計画に関する件	
2014年度の基本方針（案）	19
2014年度事業計画（案）	20～22
■ 2014年度 予算計画に関する件	
2014年度 収支予算書（案）	23～24

■ 次 第

1. 開会
2. 総会成立要件の確認
3. 理事長挨拶
4. 議長、書記および議事録署名人の選出
5. 議題審議
 - (1) 第1号議案 2013年度 事業報告に関する件
 - (2) 第2号議案 2013年度 会計および監査報告に関する件
 - (3) 第3号議案 役員承認に関する件
 - (4) 第4号議案 2014年度 事業計画に関する件
 - (5) 第5号議案 2014年度 予算計画に関する件
6. 閉会挨拶
7. 閉会

■ 2013年度の役員名簿

理事長 近藤 誠司

副理事長 中田 順寿

理事 竹田 謙一、浅利 和人、河合 正人、土谷 麻紀、
富永 淳子、秦 寛、林原 千夏、伴 加奈子、横山 章光

広報委員会 担当 伴 加奈子

ユニット委員会 担当 秦 寛 林原 千夏 中田 順寿

育成・教育委員会 担当 中田 順寿 林原 千夏 土谷 麻紀 野口 陽

財務確保の為の委員会 担当 近藤 誠司 中田 順寿

事務・会計 担当 中田 希衣

監 事 村岡 章

(理事11名 監事1名)

外部評価委員 滝坂 信一

柏村 文郎

津田 望

楠瀬 良

渡辺 廣人

(敬称略)

（第1号議案）

■ 2013年度 事業報告に関する件

【年度総括】

2013年度も皆さまからの温かいご支援とご協力を戴き、事業を着実に遂行することができました。心から感謝申し上げます。

今年度は、普及啓発事業、人材育成事業ともに布石を打つ事の出来た一年ではなかったかと思えます。社会的にも障がい者乗馬が単に言葉だけでなく、具体的なニーズを伴って広がりつつあるのを実感いたします。それとともに、障がい者乗馬を行うために必要な知識、ノウハウというものの普及はまだまだこれからであるという事も実感した一年でありました。

今年度はガイドブックを希望される方が多く、そのほとんどが外部の方でしたが、RDAのガイドブックを、活動の実践的な部分で拠り所として頂ける事は大変喜ばしい事で、全国で活動される皆さんの一助となる事を願ってやみません。

普及啓発事業としては、7月に岡山乗馬倶楽部様の要請で、インストラクターを派遣しボランティア講習会を開催、その後岡山乗馬倶楽部様は正会員となって頂きました。そして7月下旬に秋田県のユニットちっちゃいもの倶楽部様主催の講習会に作業療法士とインストラクターを派遣しました。その後9月はパカポコ山口様の乗馬会に、12月と3月には、伊良湖ホースライディングクラブ様主催のホースセラピー体験会、2月は岡山県のユニットホースセラピー馬んまる様のボランティア講習会に、それぞれインストラクター及び理学療法士を派遣し、多くの方に普及啓発する機会を頂き高評価を頂いております。例年開催している写真コンテスト及びボランティア・馬表彰も、沢山のご応募とご推薦を頂き、つつがなく終了する事ができました。大変にありがとうございました。

人材育成事業としましては、7月27日、28日の2日間にわたり福岡県のベースユニット恵光園様のご協力を頂き、B級インストラクター③④講習会・試験を行いました。12名の方が参加され和気あいあいとした雰囲気の中で講習会と試験を実施。参加された皆さんも、それぞれの現場に帰った後も交流を深めていらっしゃるようです。そして今年度は4名の新たなB級インストラクターが誕生いたしました。そして11月24日には神奈川県社会福祉法人金井原苑様のご協力を頂き、B級インストラクター②講習会・試験を実施。12名の方が参加されました。皆さん乗馬の経験のない方や乗馬を始めたばかりの方がほとんどでしたが、馬の取扱い方の実技講習会は皆さん真剣に受講され、無事全員が試験も合格し次のステップへとすすまれました。また、11月10日、日本治療的乗馬協会様と4団体（ANTRA・JRAD・ハーモニー・RDAJ）の共催で開催された研究集会におきましては、RDAJの日頃の活動成果を発表し、参加された皆様により良く知って頂く機会を頂きました。

以上が事業報告となりますが、2013年度も有意義な活動ができたと思っております。大変にありがとうございました。

2013年度に実施した主な事業は、次の通りです。

<普及・啓発事業>

- 1 会報の発行
- 2 ガイドブックの配布
- 3 ガイドブック改訂
- 4 リボンマグネットの配布
- 5 ホームページの充実と有効活用
- 6 人材交流
- 7 クリスマスカードの発送
- 8 写真コンテスト
- 9 ボランティア表彰制度
- 10 ユニット会議支援
- 11 ユニット認定
- 12 シンポジウム

<人材育成事業>

- 1 講習会
- 2 インストラクター資格認定試験
- 3 インストラクター資格更新手続き

【総会、理事会の開催状況】

◆ 総会

日時：2013年5月1日（水） 午後1時から
場所：秋葉原ルノアール会議室（東京都千代田区外神田1-16-10ニュー秋葉原センタービルB1F）
出席数：77名（内、委任状提出者52名／議決権を有する会員数134名）
議長：近藤誠司 書記：吉田 真央 議事録署名人：富永 淳子、土谷 麻紀
審議事項：

1. 2012年度事業報告に関する件
2. 2012年度会計報告および監査報告に関する件
3. 役員の承認に関する件
3. 2013年度事業計画に関する件
4. 2013年度予算計画に関する件

審議結果：全審議事項について満場一致で可決されました。

◆2013年度 第1回理事会

日時：2013年5月1日（水） 午後3時から
場所：秋葉原ルノアール会議室（東京都千代田区外神田1-16-10ニュー秋葉原センタービルB1F）
出席理事：近藤誠司、中田順寿、土谷麻紀、 富永淳子
委任状：4通（横山章光、林原千夏、竹田謙一、秦寛）
オブザーバー6名 RDA たまより（吉田・青木・塚本・小熊・法城寺） ハローヒポより（黒田）
議長：近藤誠司 書記：富永準子 議事録署名人：中田順寿・土谷麻紀
審議事項：

1. 2013年度事業計画に関する件
2. 2013年度予算計画に関する件
3. 理事会の開催について
4. その他

※すべての理事会は、理事出席数及び委任状から議事成立の条件を満たし開催しています。

◆2013年度第2回理事会

日時：2014年3月23日（日）13時30分～15時30分
会場：ルノアール貸会議室 東京駅八重洲北口店
出席理事：近藤誠司、 中田順寿、 土谷麻紀、 富永淳子 伴加奈子
委任状：3通（秦寛・林原千夏・竹田謙一）
オブザーバー：
議長：近藤誠司 書記：土谷麻紀 議事録署名人：富永淳子・中田順寿
審議事項：

1. 東京都庁認定NPO法人認可の報告
2. 2013年度事業報告に関する件
3. 2013年度会計報告および監査報告に関する件
4. 新役員の選出
5. 2014年度事業計画に関する件
6. 2014年度予算計画に関する件
7. その他

◆ メーリングリスト

理事会を補足するために、全ての役員（理事11名、監事1名）のメールアドレスを登録した「理事のメーリングリスト」にて、活発な意見や情報の交換をして参りました。YAHOOのメールサービスが終了しましたので、現在はGOOGLEのメールサービスで引き続きメーリングリストを活用しております。

1. 普及・啓発事業

① 事業名：会報「RDA Japan News」の発行

内 容：RDA Japan 活動の広い周知と理解を求め、そして各地域組織の情報交換を目的に、会報を季刊1日付で発行しました。

活動予定や報告以外にも、会員の近況を知らせる手紙などを掲載しました。

なお、「事業収支明細書（その1）」における各号の発送先は、RDA Japan 会員および医療、福祉、教育、馬事などの関係者に送付した数で、それ以外にもユニット支援として情報提供の一環で各ユニットに必要な数ずつ、またイベントなどで不特定者に配布しました。

実施日：2013年6月1日、2013年9月1日、2013年12月1日、2014年3月1日 計4回

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：RDA Japan 会員および RDA Japan の活動に関係する団体や個人

受益対象者の人数：450名（印刷部数に同じ）

支出額：132,515円

② 事業名：「RDA活動のためのガイドブック」の配布

内 容：2005年度に日本郵政公社様のご支援をいただいて制作した「RDA活動のためのガイドブック」をご希望の方に116冊配布いたしました。

実施日：通年

従事者の人数：3名

受益対象者の範囲：不特定

受益対象者の人数：多数

支出額：890円

③ 事業名：リボンマグネットの配布

内 容：2006年度に「東京大崎ロータリークラブ」様のご寄附としていただきました。ご希望の方8部に配布いたしました。

実施日：通年

従事者の人数：3名

受益対象者の範囲：不特定

受益対象者の人数：多数

支出額：0円

④ 事業名：ホームページの充実と有効活用

内 容：インストラクター講習会の情報や各ユニットからの情報等ホットな話題をトップページに掲載し、情報をタイムリーにお伝えしています。今年度はリニューアルを予定しておりましたが、予算の折り合いがつかず、改めて2014年度事業計画とさせていただきます。

実施日：通年

場 所：インターネット利用

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：RDA の活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：13,000円

⑤ 事業名：障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流

内 容：全国各地の障害者乗馬を始めたい団体や、ユニットの講習会やイベントなどへ、医療関係者やインストラクターなどの人材の紹介や派遣をします。、助言、支援を行うことで、RDA 活動の普及・啓発をいたしました。

実施日：7月8日、27-28日、9月28日、12月8日、2月2日、3月29日

場 所：秋田県ちっちゃいもの倶楽部・岡山乗馬倶楽部・パカポコ山口・伊良湖 HRC・岡山馬んまる

従事者の人数：7名

受益対象者の範囲：RDA の活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：85,990 円

⑥ 事業名：クリスマスカードの送付

内 容：世界各国の関係団体および有識者などとコミュニケーションを図ることを目的に、クリスマスカードを送付しておりましたが、今年度より電磁的手段を活用し、発送は致しませんでした。

実施日：2013年12月

従事者の人数：1名

受益対象者の範囲：世界各国のRDA関係者

受益対象者の人数：0通（送付数）

支出額：0円

⑦ 事業名：第6回 RDA J a p a n 写真コンテスト

内 容：障がい者乗馬の活動現場において、その日々の活動や競技会、イベントなどで記録した写真が15件応募いただき、2013年度も第8回目となる「RDA J a p a n 写真コンテスト」を開催いたしました。

【RDA Japan 賞】 大庭拓真様（RDA たまご推薦）

【審査員特別賞】 永津さつき様（RDA たまご推薦）

【入選】 更家加将様（パカポコ山口ご推薦）

小山未結様（伊良湖ホースライディングクラブ）

<審査員>

高草操カメラマン、近藤誠司理事長、中田順寿副理事長

実施日：2013年12月～2014年2月

従事者の人数：5名

受益対象者の範囲：日本国内で障がい者乗馬に関わる人

受益対象者の人数：多数

支出額：11,400 円

⑧ 事業名：ボランティア表彰制度

内 容：障がい者乗馬の立役者とも言えるボランティアさん、馬に感謝の気持ちをこめて表彰状を贈る制度です。下記の方々を表彰いたしました。

＜ボランティア部門＞

小熊 将之様 RDA たま（神奈川県）ご推薦
佐藤 香様 障害者のための馬事普及協会ピルエット（栃木県）ご推薦

＜馬部門＞

桜号 RDA たま（神奈川県）ご推薦
桂仙号 障害者のための馬事普及協会ピルエット（栃木県）ご推薦
ロビン号 パカポコ山口（山口県）ご推薦

実施日：2013年12月～2014年2月

従事者の人数：3名

受益対象者の範囲：日本国内で障がい者乗馬に関わる人

受益対象者の人数：多数

支出額：23,661円（14ページの「事業収支明細書（その8）」を参照）

⑨ 事業名：ユニット支援

内 容：今年度はベースユニット1団体、ユニットに2団体が新規に登録されました。今年度ユニット会議は行っておりません。

2013年度（登録有効期間3年）に登録しているユニットは以下の通りです。

RDAちくだい（北海道帯広市）
パカポコ・クラブ（岩手県一関市）
ちっちゃいもの倶楽部（秋田県大仙市）
ハロー・ヒポ（群馬県安中市松井田町）
つばさ乗馬苑（埼玉県日高市）
RDA横浜（横浜市保土ヶ谷区）
RDAたま（横浜市青葉区）
ホースセラピー馬んまる（岡山県岡山市）
パカポコ山口（山口県宇部市）
チャレンジドホースサークル（福岡県福岡市）
恵光園（福岡県豊前市）

実施日：通年

従事者の人数：0名

受益対象者の人数：多数

支出額：0円

⑩ 事業名：ユニット認定

内 容：RDA ユニットに加入を希望する団体の活動状況を視察し、ユニット認定を行う他、認
期間の3年を経過した団体に継続手続きをいたします。

今年度、新規認定した団体は福岡県豊前市の恵光園・福岡県福岡市のチャレンジドホースサークル
岡山県岡山市のホースセラピー馬んまるの3団体です。

実施日：通年

従事者の人数：4名

受益対象者の範囲：ユニット加入希望団体

受益対象者の人数：多数

支出額：360円

⑪ 事業名：シンポジウム

内 容：JTRA・JRAD・ハーモニー・RDAJ 共催

場 所：参宮橋オリンピック青少年センター

実施日：2013年11月9日10日

受益対象者の範囲：障がい者乗馬及びRDA活動に興味のある方

受益対象者の人数：多数

支出額：0円

(2) 人材育成事業

① 事業名：講習会・試験

内 容：今年度は新規移行期二年目となり、下記の講習会を実施いたしました。

- ・B級インストラクター講習会 (③④講習会・試験)

実施日：2013年7月27日28日

場 所：福岡県豊前市 社福法人恵光園

従事者の人数：6名

受益対象者の範囲：講習会参加者

受益対象者の人数：12名

- ・B級インストラクター講習会 (②講習会・試験)

実施日：2013年11月24日

場 所：神奈川県川崎市 社福法人金井原苑・サンヨーガーデンRC

従事者の人数：4名

受益対象者の人数：12名

支出額：275,780円

② 事業名：インストラクター資格認定

内 容：今年度は4名の方からB級インストラクターの資格認定申請があり、資格認定委員会が審査を行い、4名のB級インストラクターが新たに誕生しました。

実施日：随時

場 所：

従事者の人数：5名

受益対象者の範囲：B級インストラクター資格認定申請者

受益対象者の人数：4名

支出額：3,862円

③ 事業名：インストラクター資格更新手続き

内 容：RDA Japan 認定B級インストラクター資格取得者1名の資格更新を資格認定委員会が審査を行い、資格更新手続きを行いました。

実施日：通年

従事者の人数：4名

受益対象者の範囲：RDA Japan 認定インストラクターとその指導を受ける人

受益対象者の人数：1名

支出額：0円

(第2号議案)

■ 2013年度 会計および監査報告に関する件

(2013年4月1日～2014年3月31日)

科 目	予算額	決算額	(単位：円)	備 考
I. 収入の部				
1. 会費収入				注 1
正会員費	300,000	381,000		注 2
賛助会費	20,000	19,000	400,000	
2. 寄付金収入				
寄付金収入	300,000	313,200		
物品による寄付	0		313,200	
3. 補助金収入				
民間助成金収入	100,000	0	0	
4. 事業収入				
(1) 啓発・普及事業				
会報の発行	0	0		
ガイドブックの頒布	0	0		
リボンマグネット	0	0		
HPの充実と有効活用	0	0		
人材交流、助言、指導、支援	0	0		
クリスマスカードの発送	0	0		
写真コンテスト	0	0		
ボランティア表彰制度	0	0		
ユニット会議支援	0	0		
ユニット認定	0	0		
一般向けシンポジウム	0	0		
パンフレットの作成	0	0		
(2) 人材育成事業				
講習会	200,000	155,500		
インストラクター資格試験	230,000	64,000		
インストラクター資格更新手続き	0	6,000	225,500	
5. 雑収入				
雑収入	0	0		
受取利息	0	289	289	
当期収入合計(a)	1,150,000	938,989	938,989	
前期繰越金収入	3,015,743	3,015,743	3,015,743	
収入合計(b)	4,165,743	3,954,732	3,954,732	

注 1 正会員 @3,000円×127名

注 2 賛助会員 @1,000円×19口

科 目	予算額	決算額	(単位：円)	備 考
Ⅱ. 支出の部				
1. 運営支出				
会議費	20,000	24,142		
通信費	100,000	115,597		
交通費	50,000	179,110		
宿泊費	10,000	0		
消耗品費	30,000	240,573		
印刷費	10,000	8,975		
専門家への相談、依頼費	50,000	63,000		
慶弔費	10,000	0		
租税公課	100,000	0		
運営事務謝金	240,000	240,000		
諸会費	50,000	56,728		
広告費	0	45,000		
什器備品費	0	0		
支払手数料	5,000	7,396		
管理諸費	0	1,400		
雑費	0	1,920	983,841	
2. 事業支出				
(1) 啓発・普及事業				
会報の発行	100,000	132,515		
ガイドブックの頒布	1,000	890		
リボンマグネット	1,000	0		
ガイドブックの改訂	30,000	0		
HPの充実と有効活用	200,000	13,000		
人材交流、助言、指導、支援	300,000	85,990		
クリスマスカードの発送	10,000	0		
写真コンテスト	20,000	11,400		
ボランティア表彰制度	20,000	23,661		
ユニット会議支援	10,000	0		
ユニット認定	100,000	360		
シンポジウム	50,000	0		
パンフレットの作成				
(2) 人材育成事業				
講習会	150,000	275,780		
インストラクター資格試験	300,000	3,862		
インストラクター資格更新手続き	10,000		547,458	
3. 予備費				
予備費	0	0		
当期支出合計(c)	1,977,000	1,531,299	1,531,299	
当期収支差額(a)-(c)			▲592,310	
次期繰越金収支差額(b)-(c)	0		2,423,433	

貸借対照表

特定非営利活動法人 RDA Japan

[税込] (単位: 円)

平成26年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	5,343
現金	1,888	前受金	73,000
普通預金	941,491	流動負債計	78,343
郵便貯金	1,557,887	負債の部合計	78,343
現金・預金計	2,501,266	正 味 財 産 の 部	
(その他流動資産)		【正味財産】	
仮払金	510	前期繰越正味財産額	3,015,743
その他流動資産計	510	当期正味財産増減額	△ 592,310
流動資産合計	2,501,776	正味財産計	2,423,433
		正味財産の部合計	2,423,433
資産の部合計	2,501,776	負債・正味財産の部合計	2,501,776

財 産 目 録

特定非営利活動法人 RDA Japan

[税込] (単位：円)
平成 26 年 3 月 31 日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	1,888
普通 預金 三菱東京 UFJ 銀行 広尾支店	941,491
郵便 貯金 ゆうちょ銀行	1,557,887
現金・預金 計	2,501,266

(その他流動資産)

仮 払 金 源泉税納付差額	510
その他流動資産 計	510

流動資産合計 2,501,776

資産の部 合計 2,501,776

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金 KDD I (株)	2,785
アスクル	2,558
科目計	5,343
前 受 金 正会員 2014 年度会費 23 名	72,000
前 受 金 賛助会員 2014 年度会費 1 名	1,000
科目計	73,000

流動負債 計 78,343

負債の部 合計 78,343

正味財産 2,423,433

■ 監査報告書

私は、特定非営利活動法人 RDA Japan 定款第 50 条の規定に基づき、2013 年度の事業報告書、収支決算書、貸借対照表、財産目録の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2014年 5月 日

特定非営利活動法人 RDA Japan

監事 村岡 章

(自署)

印

(第3号議案)**■ 役員承認に関する件****【2014年度の役員】**

任期：2014年4月1日から2016年3月31日（2年間） <敬称略・あいうえお順>

理事長	中田	順寿
副理事長	土谷	麻紀
	長洞	尚美
理事	上田	千恵
同	後藤	浩二郎
同	玉井	香織
同	塚田	昭雄
同	月川	大樹
同	富永	淳子
同	中田	希衣

監事 正清 久美子 (理事10名、監事1名)

以上、新役員が2014年3月23日の理事会で承認されました。

【参考】 ※ 役員選任に関する RDA Japan 定款からの抜粋です。

第3章 役員

(種別及び定数)

第14条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 7人以上20人以内
- (2) 監事 1人以上

2 理事のうち理事長を1人、副理事長を2人以内とする。

(任期等)

第17条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期が満了した場合においても後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(第4号議案)

■ 2014年度 事業計画に関する件

【基本方針(案)】

今年度は、新役員と共に、また他団体との連携も大切にしながら、RDAJapanとして積極的・主体的に行動を起こす一年としていきたいと思えます。

普及啓発事業においては、昨年度の計画にもあったガイドブックの改訂については一旦据え置きますが、改訂の努力は続け、新たに障がい者乗馬をこれから始めたい、RDAをもっと知りたいというニーズに応えるためのハンドブックを作成していきたいと考えています。また、RDAJの事業活動はすべて会費・賛助会費・寄附金で賄われている実態から、現在登録されているユニットのご協力も頂き、会員となって頂ける方を増やし、活動の生命線となるユニットにつきましても、現在の審査基準及び登録料等を見直し明確にした上でユニット認定団体を増やしていきたいと思えます。そしてRDA活動にご理解を頂ける各団体・企業様からの寄附金を募る財務活動にも注力していく所存です。HPのリニューアルですが、昨年度の事業計画でございましたが、予算に見合わず改めて今年度の計画と致します。

HPを通しての問合せが多いので、障がい者乗馬が未知の方でも判りやすく見やすいサイトにリニューアルし、内外に向けて情報を発信していける充実した内容を目指します。

そして今年も他団体との連携を密に、協力体制を強化していくことで活動現場へ、セミナーやイベントなど、より新しい情報等を発信していきます。

人材育成事業においては、講習会とインストラクター資格認定試験を二本の柱とし、内容がさらに充実したものとなるよう、講習会は各種講習会内容を明確にカテゴライズし、他団体の講習会を含む認定・指定講習会を開催します。インストラクター試験は新規程2年目を迎え、昨年実施して判った改善点を改め、早い時期での告知を行い来年度には年間スケジュールを打ち出せる体制にして参ります。

2014年度の主な事業は以下の通りです。

(1) 普及・啓発事業

- ・会報の発行(年4回)
- ・ガイドブックの配布
- ・ハンドブックの作成
- ・リボンマグネットの配布
- ・ホームページの充実と有効活用
- ・障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流
- ・写真コンテスト
- ・ボランティア及び馬匹表彰
- ・ユニット認定
- ・シンポジウムの開催
- ・ユニット会議

(2) 人材育成事業

- ・各種講習会
- ・インストラクター資格認定試験及び審査
- ・インストラクター資格更新手続き

【2014年度事業計画（案）】**(1) 普及・啓発事業****① 事業名：会報「RDA Japan News」の発行**

内 容：RDA Japan とユニットの活動を広く周知し理解を求め、ユニット同士の情報交換、およびこれから活動を始めたい方への情報提供などを目的として、会報を原則季刊で発行します。経費削減のためホームページからダウンロードできる方以外の皆さまおよび関係各所にはクロネコメール便等を用いて送ります。毎号 450 部印刷。

実施日：2014年6月1日、2014年9月1日、2014年12月1日、2015年3月1日 計4回

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：RDA Japan 活動支援者・団体、その他会報希望者

受益対象者の人数：およそ 450 名

支出額：150,000 円

② 事業名：「RDA活動のためのガイドブック」の配布

内 容：2005年8月に加筆改訂し、日本郵政公社様のご支援をいただいて制作した「RDA活動のためのガイドブック」を要望に応じて配布します。

実施日：通年

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：RDA Japan 会員。その他、ガイドブック内容と RDA 活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：10,000 円

③ 事業名：ハンドブックの作成

内 容：RDA 活動・障がい者乗馬に興味がある方、すでに活動をされている方に判り易く解説した携帯サイズのハンドブックを制作します。

実施日：通年

従事者の数：10名

受益対象者の範囲：RDA Japan 会員、RDA 活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：50,000 円

④ 事業名：リボンマグネットの配布

内 容：「東京大崎ロータリークラブ」様が、2006年度に RDA Japan のために制作して下さった“リボンマグネット”を配布します。

実施日：通年

従事者の人数：2名

受益対象者の範囲：多数

受益対象者の人数：多数

支出額：10,000 円

⑤ 事業名：ホームページの充実と有効活用

内 容：2008年度にホームページをリニューアルしましたが、5年を経過しましたので、更なる充実を目指しリニューアルします。現在のサイトはページ数が非常に多く文字が小さいため、誰でもサイト内を検索しやすく、ビジュアル的にも判り易い内容にしていきます、

実施日：通年

従事者の人数：4名

受益対象者の範囲：RDA Japan の活動に関心がある人

受益対象者の人数：多数

支出額：300,000

⑥ 事業名：障がい者乗馬を行いたい団体・個人等への人材交流

内 容：全国各地の団体・個人等を対象に障がい者乗馬活動に対する人材派遣、支援を行うことで、RDA 活動の普及・啓発とします。

実施日：通年

場 所：全国各地

従事者の人数：15 名

受益対象者の範囲：RDA 活動に興味のある方、活動をしてみたい方

受益対象者の人数：およそ 1,000 名

支出額：200,000 円

⑦ 事業名：RDA J a p a n 写真コンテスト

内 容：日々の活動や競技会、イベントなどで記録した写真も数多くあり、また、記録の意義を超えて「馬上の笑顔の記憶」として芸術的な素晴らしい写真を公募して「RDA J a p a n 写真コンテスト」を開催します。

実施日：通年（審査は 2015 年 2 月ごろを予定）

従事者の人数：6 名

受益対象者の範囲：障がい者乗馬活動に参加した方々

受益対象者の人数：多数

支出額：20,000 円

⑧ 事業名：ボランティア表彰

内 容：RDA の理念に則り活動しているユニット・準ユニットを支え、貢献してきたボランティアや馬を RDA Japan が表彰します。

実施日：通年（審査は 2015 年 2 月ごろを予定）

従事者の人数：5 名

受益対象者の範囲：ユニットおよび活動に参加するボランティア、馬匹

受益対象者の人数：多数

支出額：20,000 円

⑨ 事業名：ユニット認定

内 容：新規に RDA ユニットに加入を希望する団体の活動状況を視察し、ユニット認定を行う他、認定期間の 3 年を経過した団体に対しては継続手続きを行います。

実施日：通年

従事者の人数：5 名

受益対象者の範囲：ユニット加入希望団体

受益対象者の人数：多数

支出額：100,000 円

⑩ 事業名：シンポジウム

内 容：RDA 活動普及のためのシンポジウムを開催します。

実施日：未定

受益対象者の範囲：RDA 活動に興味のある方

受益対象者の人数：多数

支出額：50,000 円

⑪ 事業名：ユニット会議

内 容：ユニットの情報交換の場としての会議（web 上）

実施日：未定

受益対象者の範囲：RDAJ 認定ユニット

従事者の数：5 名

受益対象者の人数：10 名

支出額：0 円

(2) 人材育成事業**① 事業名：講習会**

内 容：各種講習会の開催

実施日：未定

場 所：未定

従事者の人数：10名

受益対象者の範囲：講習会参加者とその指導を受ける人

受益対象者の人数：多数

支出額：200,000円

② 事業名：インストラクター資格試験

内 容：RDA Japan 認定「RDA インストラクター資格」取得希望者の資格試験を行います。

資格取得希望者には『ログブック』（活動記録）を提出していただき、実技、筆記、面接試験を通して、資格認定委員会が審査を行い、理事会に諮り認定します。

実施日：未定

従事者の人数：10名

受益対象者の範囲：RDA Japan 認定インストラクターになりたい人

受益対象者の人数：多数

支出額：100,000円

③ 事業名：インストラクター資格更新手続き

内 容：RDA Japan 認定「RDA インストラクター資格」取得者の資格更新手続きを行います。

資格認定委員会が審査を行い、再認定手続きをします。

実施日：通年

従事者の人数：10名

受益対象者の範囲：RDA Japan 認定インストラクターとその指導を受ける人

受益対象者の人数：多数

支出額：10,000円

(第5号議案)
 ■ 2014年度 予算計画に関する件

2014年度 収支予算書(案)

(2014年4月1日～2015年3月31日)

科 目	金 額 (単位:円)			備 考
I. 収入の部				
1. 会費収入				注 1 注 2
正会員費	450,000			
賛助会費	30,000	480,000	480,000	
2. 寄付金収入				
寄付金収入	800,000			
物品による寄付	0		800,000	
3. 補助金収入				
民間助成金収入	200,000	200,000	200,000	
4. 事業収入				
(1) 啓発・普及事業				
会報の発行	0			
ハンドブックの作成	0			
HPの充実と有効活用	0			
人材交流、助言、指導、支援	0			
写真コンテスト	0			
ボランティア表彰制度	0			
ユニット認定・更新	60,000			
シンポジウム	0			
ユニット会議	0			
(2) 人材育成事業				
講習会	200,000			
インストラクター資格試験	230,000			
インストラクター資格更新手続き	0	0	490,000	
5. 雑収入				
雑収入	0			
受取利息	0	0	0	
当期収入合計(a)			1,970,000	
前期繰越金収入	2,423,433		2,423,433	
収入合計(b)			4,393,433	

注 1 正会員 @3,000円×150名

注 2 賛助会員 @10,000円×3口

科 目	金 額 (単位：円)			備 考
Ⅱ. 支出の部				
1. 運営支出				
会議費	50,000			
通信費	125,000			
交通費	250,000			
宿泊費	10,000			
消耗品費	30,000			
印刷費	10,000			
専門家への相談、依頼費	60,000			注 3
慶弔費	10,000			
租税公課	0			
運営事務謝金	240,000			注 4
諸会費	60,000			
什器備品費	0			
支払手数料	5,000	840,000	840,000	
2. 事業支出				
(1) 啓発・普及事業				
会報の発行	150,000			
ガイドブックの配布	1,000			
ハンドブック作成	50,000			
リボンマグネット	0			
HPの充実と有効活用	300,000			
人材交流、助言、指導、支援				
写真コンテスト	20,000			
ボランティア表彰制度	20,000			
ユニット認定・更新	100,000			
シンポジウム	50,000			
ユニット会議	0			
		691,000		
(2) 人材育成事業				
講習会	200,000			
インストラクター資格試験	100,000			
インストラクター資格更新手続	10,000	310,000	1,001,000	
支出合計			1,841,000	
3. 予備費	200,000		200,000	
当期支出合計(c)			2,041,000	
当期収支差額(a)-(c)			▲71,000	
前期繰越金額	2,423,433		2,423,433	
次期繰越金収支差額(b)-(c)			2,352,433	

注 3 税理士や弁護士への相談、依頼

注 4 @20,000円×12ヶ月(運営事務補助謝金)